

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
NEXT Logistics Japan株式会社	代表取締役	梅村幸生	東京都	複合サービス事業	https://www.next-logistics-jp.jp/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2020年12月17日
-------	-------------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ⑤	幹線輸送部分と集荷配送部分の分離	【25mフルトレによる幹線輸送】 様々な荷を積載効率のよい積み付けを行い、25mフルトレーラーで幹線輸送を実施。1台でたくさん運ぶことで、CO2削減、ドライバー不足の対策に取り組む
2	F ①	ドライバー不足対応	【中間地点でのドライバーチェンジ】 幹線輸送ルートの中間地点である豊田営業所でドライバーチェンジをすることで、ドライバーの法規遵守運行、宿泊勤務ゼロを実現。ドライバー・車両情報を活用し、安全管理やモチベーションアップを実施
3	C ②	働き方改革等に取り組む物流事業者の積極的活用	【完全荷役分離】 ドライバーが付帯作業として行っている荷役作業を分離させることで、ドライバーと荷役作業者の作業効率UPに貢献
4	A ③	パレット等の活用	【パレットの規格化、BOXパレットの活用】 効率的な積載を実現させるため、パレットの規格化やBOXパレットの採用を推進中
5	A ②	予約受付システムの導入	【バース予約】 システムで事前にバース予約をすることでトラック待機時間は削減、ドライバー含む関係作業者の工数低減に貢献
6	A ⑪	物流システムや資機材の標準化	【物流情報システム】 荷主のオーダー情報より、積み付け、ドライバーチェンジ後の荷下ろしまでを一気通貫で管理。倉庫作業者の作業工数削減、また目的地までの正確な配送、物流品質向上(トレーサビリティの確保)を実現
7	A ⑦	運転以外の作業部分の分離	【荷役の自動化】 働き方改革を目的とし、荷役作業や倉庫設備においてAI導入等による自動化検討を推進中

PR欄	<ul style="list-style-type: none"> ・同じ志を持った方々と協力し、全体最適を皆で検討することが可能 ・先進技術の活用により、安全運航を実現
-----	--